

展示内容 ～各県の災害対策～

愛知県

♡ 愛知県の防災体制の3大特徴 ♡

★1. あいちの災害時帰宅支援

- ・愛知県には、災害時帰宅支援ステーションがあります。
- ・支援サービスが可能・避難する場所を見つけるために「支援ステーションステッカー」があるそうです。
- ・徒歩帰宅支援マップは、どこに帰宅支援ステーションがあるのかがわかります。



東海学園大学

★2. あいちの危機管理

- ・地震に強い施設を作るための愛知県が行ってる対策の中から**3つの大きな柱**を厳選しました。

1. 延焼を防ぐまちづくりの推進
2. 水道施設の設備
3. 避難地・避難路の設備確保

1. 防災対策マップ
2. 建物倒壊シュミレーター
3. ビデオ教材
4. 地域防災の広場

★3. 防災学習システム

- ・地震の被害を確認できる**教材が4つ**あります。
特に**建物倒壊シュミレーター**は、ぜひ見てください。

東海学園大学

災害時帰宅支援

～ 帰宅が困難となる滞留者の徒歩帰宅を支援するための情報提供 ～

支援ステーションステッカー



帰宅困難者とは・・・

交通機関の途絶により自宅に帰るのが困難になった人います

東海学園大学

「災害時帰宅支援ステーション」とは「水道水」、「トイレ」、「道路情報などの情報」の提供をしているコンビニや郵便局などをいう。

支援サービス可能な店舗では、店舗入口付近にステッカーを掲出している日本語の他に、**英語、中国語、ハンガルの3ヶ国語**で案内標記をしているので、外国人の方でも帰宅支援が可能です。

徒歩帰宅支援マップ



震災時帰宅支援・避難マップ

名古屋・東海版



帰宅支援場所の位置や主要帰宅経路等を掲載した『**徒歩帰宅支援マップ**』が作成されていて、主要な帰宅経路のほかトイレや飲料水(水道水)の提供など帰宅支援を行う**災害時帰宅支援ステーション**や**ガソリンスタンド**の位置、**公衆トイレ**を備えた公園、**避難所**の場所も掲載されている。
マップは名古屋駅周辺と市周辺を4方面(北西、北東、南西、南東)に区分し、計5種類が用意されている。

※震災時の徒歩帰宅用に『**震災時帰宅支援・避難マップ 名古屋・東海版**』も発行されているので個人又は各家庭で用意しておいてはいかがでしょうか?

東海学園大学

愛知災害対策アクションプラン

～地震に強い施設づくり～

延焼を防ぐまちづくりの推進

- ・県が運営している市街地域内にある6つの公園の緑地の整備
- ・土地区画整理事業の支援 や密集住宅市街地の整備改善の支援により災害に強い街づくりの促進

水道施設の整備

- ・上水道施設老朽管更新事業への支援
⇒ 水道管の損傷で断水になるのを防いでいる
- ・県営水道と市町村水道との連絡施設をつくり、連絡管の整備や調整池の整備を行っている。
⇒ 断水が起こった場合、連絡管があれば復旧が早くなり調整池があれば火災が起こった場合に消火ができる

東海学園大学

避難地・避難路の整備確保



- ・県が運営し避難場所等となる9つの都市公園の整備
- ・ブロック塀や自動販売機の耐震対策
⇒ 安全に避難できるように器具で固定し転倒を防いでいる。
- ・避難路や緊急輸送路に利用できる林道・農道や避難地に利用できる農村公園の整備
- ・10市町村における避難地などへの避難誘導標識等の整備
⇒ 混乱しないように素早く避難場所に誘導する。

東海学園大学

愛知県防災学習システム

- ・防災マップには、震度マップや液状化マップが掲載されています。
- ・建物倒壊シュミレーターで、自分の住むところの危険度を知ることができます。
- ・ビデオ教材では、愛知県で予想される震度や被害、耐震診断の必要性などが映像を通して、確認することができます。

内容

防災マップ

ボタンをクリックしていくと、居住地周辺の災害情報を順番に閲覧することができます。



東海学園大学

建物倒壊シュミレーター

東海・東南海地震が発生した時の自宅の様子をシュミレーションすることができます

地震発生前



地震発生後



ビデオ教材

防災に関する各種ビデオコンテンツを閲覧することができます



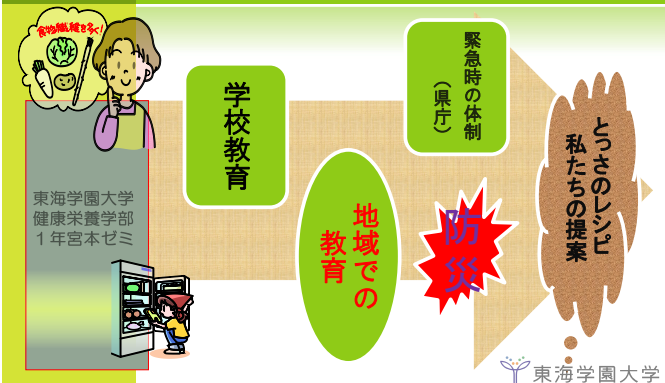
地域防災の広場

電子地図上に、避難所や消火栓・防災倉庫・自主防災会役員宅・危険箇所・災害時要援護者宅等を写真とともに掲載できるようになっている

東海学園大学

岐阜県

1 岐阜県における防災教育と災害時の食事



2 学校での防災教育(小学校)

以下「岐阜県防災教育」より

- ①火災による危険と安全な行動の仕方および避難場所、避難経路と避難の仕方
- ②地震等自然等災害(火山活動・津波など)による危険と安全な行動の仕方および避難場所、避難経路と避難の仕方
- ③風水(雪)害、落雷などの気象現象による危険と安全な行動の仕方(避難の仕方)



東海学園大学

3 学校での防災教育(中学校)

- ①火災時の安全: 火災の危険と状況に応じた安全な行動の仕方など
- ②自然災害時の安全: 地震、火山活動、津波などによる危険と安全な行動の仕方
- ③気象災害時の安全: 暴風雨・洪水・豪雪・雪崩、落雷による危険と安全な行動の仕方
- ④災害事故防止と安全な生活: 学校行事や生徒会活動など自主的活動への積極的な参加など



東海学園大学

4 学校での防災教育(高校)

- ①火災時の安全
 - ・様々な場面に応じた避難の仕方
- ②自然災害時の安全
 - ・地震などの発生と被害の状況
 - ・地震など発生時における危険と安全行動
 - ・地震発生時における情報把握、情報伝達と避難行動
 - ・地震など発生と二次災害の対処の仕方
 - ・様々な場面での避難行動
 - ・地震防災計画と安全行動
- ③気象災害時の安全
 - ・暴風雨、洪水、豪雪、雪崩、落雷等による危険と安全な行動の仕方
- ④放射能の危険と原子力などの事故災害発生時の安全
- ⑤災害事故防止と安全な生活
 - ・地域社会における安全活動への参加



東海学園大学

5 地域における防災教育・対策①

以下 C11115@pref.gifu.ac.jp

平成22年度第2四半期市町村防災関係研修・講座の実施状況

市町村	実施日	研修・講座名	主催者	参加者数	実施内容等
岐阜市	7月4日～9月26日の間	地域防災訓練	日野、長森、長森北、長森東、長森西、柳沢、長森東、南村、野山、七坂、島、華陽、徳本、本郷、三郷、三郷西、三郷北、三郷南、加納、白山、長森南、長森西、三郷北本庄、柳本、加納西、長森西、長森西、日野江、市橋、長良、各自自主防災隊	34回@531人	無線交信、初期消火、避難誘導、救出・救援、炊き出し等の訓練
	7月13日	防災講話	予防課長、藍川公民館館長、日赤奉仕団、川島こどもセンター、避難訓練、北島自治会、藍川公民館館長、岐阜市社会福祉事業団、本郷自主防災隊長、芥見東女性防火クラブ	43 13 78 80 20 40 50 50	災害に備えてー 私たちのまちの防災対策
	8月29日	岐阜市総合防災訓練	岐阜市	1,556	無線交信、初期消火、避難訓練、救出・救援、炊き出し等の訓練
羽島市	7月4日	「防災のはなし」	正木町青少年育成部会	約85	・小学生向けの出前講座「防災のはなし」を実施し、北木小学校で実施されている災害用伝言番の啓発、使用目的等を説明
	8月9日	「防災のはなし」	竹鼻地区公民館	約30	・職員を派遣し、出前講座「防災のはなし」を実施し、地震、水害について「自動」共助の考え方をより、自主防災活動のことはじめの契機となることを目標に実施

岐阜県下各地での「防災関係研修・講座」の開催状況を概観します。2010年度下半期の状況です。がんばってますね。

東海学園大学

6 地域における防災教育・対策②

市町村	実施日	研修・講座名	主催者	参加者数	実施内容等
各務原市	9月7日	出前講座「地震対策」	各務原市	40	市民が防災に関する知識を高め、防災意識の醸成と災害時の適切な対応を身につけるとともに市の施策について学ぶことを目的に開催
山県市	9月18日	災害向上訓練と要援護者避難について	山県市消防センター	約100	1. DIG訓練
瑞穂市	8月29日	瑞穂市防災訓練	瑞穂市	550	・避難誘導訓練(避難所設置、煙体験ハウス体験 ほか) ・屋外消火栓・バケツリレー・樹液浸透救助訓練 ほか
本巣市	8月29日	地震防災訓練会「地域防災の推進に向けて」	本巣市	383	市議会防災訓練終了後、地域防災に向けた取り組みに関する講演会を実施
笠松町	9月5日	地域別自主防災訓練	笠松町自主防災協議会	約400	航空自衛隊岐阜基地・羽島郡広域連合・町消防団・町婦人防火クラブの協力を得て防災訓練を実施
	7月3日	中川町地域防災訓練	中川町消防団	80	防災講話 防災ゲーム
大垣市	7月15日	細田丁丁目北自治会・長寿会防災出前講座	細田丁丁目北自治会・長寿会	100	・今後大垣で起こりうる災害について ・災害時における避難行動の命令及び伝達手段について ・大垣市地図・ハザードマップの解説 ほか
	7月20日	外国人就労者防災出前講座	大垣市	15	・日本で起こりうる災害について ・日本とフランスの違い ・避難所について ・災害時における行動 ほか
	8月7日	「防災マップ作成研修」	静里地区老人クラブ連合会	100	・独立行政法人防災科学技術研究所研究員を講師に、GISデータを使った防災マップ作成に関する勉強会
	9月2日	静里地区老人クラブ連合会防災出前講座	静里地区老人クラブ連合会	100	・今後、大垣で起こりうる災害について ・災害時における避難行動の命令及び伝達手段について ・大垣市地図・ハザードマップの解説 ほか
	9月7日	木戸町いきいきサロン防災出前講座	木戸町福祉推進委員	30	
	9月14日	西山まめな会&元気会防災出前講座	西山まめな会&元気会	30	

東海学園大学

地域における防災教育・対策③

市町村	実施日	研修・講座名	主催者	参加人数	実施内容等
海津市	7月26日	防災研修会	岐阜県立海津特別支援学校	30	1. 講座「迫りくる大地震に備えて」海津市消防隊 2. 防災クイズ 海津市消防隊
	8月8日	出前講座	野寺女性防火クラブ	80	1. 講座「迫りくる大地震に備えて」 2. 実践「AEDの操作実践」海津市消防署
海津市	9月11日	出前講座	明朋会	70	1. 講座「迫りくる大地震に備えて」海津市消防隊
	9月12日		四ツ谷自治会	40	1. 実践「救命講習」2. 講座「自主防災組織結成促進」
	9月18日		松ノ谷ハイハイ自主防災隊	100	1. 実践「消火器・消火栓訓練」 2. 講座「迫りくる大地震に備えて」海津市消防隊
	9月29日		中部婦人会	40	1. 講座「息を吐いて備えて」2. 実践「AED」海津市消防隊
養老町	9月23日	防災出前講座	橋爪北区	35	地震のメカニズム・日頃から防災への準備、心構え ・木造家屋耐震診断、耐震補強工事助成 ほか
垂井町	7月24日	自助防災訓練ナゲ研修会	垂井町・不破消防組合	105	講演会 演題「新しい気象情報について」講師 岐阜地方気象台
関ヶ原町	8月22日	災害ボランティア講座	社団法人 関ヶ原町社会福祉協議会	300	災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練を行うことを目的とし、町民・災害ボランティアについて学びたい町民が対象
揖斐川町	8月22日	揖斐川町総合防災訓練	揖斐川町	10,000	情報伝達訓練・職員参加訓練・災害対策本部設置訓練 ほか
美濃加茂市	7月31日	新丸山'人'建設促進機構合同大会	新丸山'人'建設促進機構合同大会	約100	防災講演会・避難対策や災害情報伝達などの危機管理対応、住民とのコミュニケーションを通じた地震防災力向上等求められることからの防災について学ぶ
郡上市	8月20-23日	郡上市自主防災会育成研修会	郡上市自治会連合会 共済郡上市	170	第一編『自主防災会災害時活動マニュアル作成について』第二編『自主防災会の役割について』

東海学園大学

地域における防災教育・対策④

市町村	実施日	研修・講座名	主催者	参加人数	実施内容等
七宗町	9月5日	七宗町防災訓練	七宗町・七宗町消防団	850	＜町民＞1 作動確認を含めた消火栓の取扱方法の取得 2 消火器の取扱方法の習得 3 安全確認方法等の再確認 ＜消防団＞各分団長の指揮の下で所轄する地域において起こりうる災害の想定とその対応策についての協議を行った。
白川町	9月5日	白川町防災訓練(会場訓練)	白川町	300	土のう作り、積み方訓練・初期消火訓練 「ボランティアセンター」運営訓練 伝言ダイヤル体験 ほか
富田町	7月19日	防災研修	富田町 手話通訳連絡会	30	イラストマップの活用・毛布の担架の作り方・消火器の取扱い ・非常時ごとの声かけ ほか
中津川市	9月24, 28, 30日	家具転倒防止事業研修会(第1回、2回、3回)	中津川市・防災市民会	63 25 61	1 地震防災と家具転倒防止の必要性 2 家具転倒防止の取組 3 家具転倒防止金庫取付方法の体験実施 4 防災避難グッズ・避難準備品取付方法の体験実施
土岐市	7月29日 9月29日	自主防災組織等研修会	美木町・下石町・秋知町 各自自治会	80 108	講演「地域の防災力」講師 NPO法人「フェース」代表理事 藤田 氏
	9月12日 9月26日	自主防災組織研修会	秋知町 自主防災組織	60	消火栓取扱い、消火器取扱い、応急手当
	9月10日	丹生川地域防災講演会	高山郡丹生町 丹生町	100	日野防犯センター(丹生町)・丹生町 丹生町 丹生町 丹生町 丹生町 丹生町 丹生町 丹生町 丹生町 丹生町
高山市	9月26日	高山市総合防災訓練・災害想定直上訓練	高山市	102	「災害想定直上訓練」地域の避難所や危険箇所、防災施設、高齢老人宅を直上シミュレーションし、危険箇所などの状況を確認する。
	9月26日	高山市総合防災訓練・災害想定直上訓練	高山市	100	「災害想定直上訓練」住んでいる地域の避難所や危険箇所、防災施設、地域の助けが必要としている方の家などを直上シミュレーションし、確認する。市民が防災に関する知識を高め、防災意識の向上と災害時の適切な対応を身に付ける。 実践「避難経路の未確認者を避難所へ」

東海学園大学

地域における防災教育・対策⑤

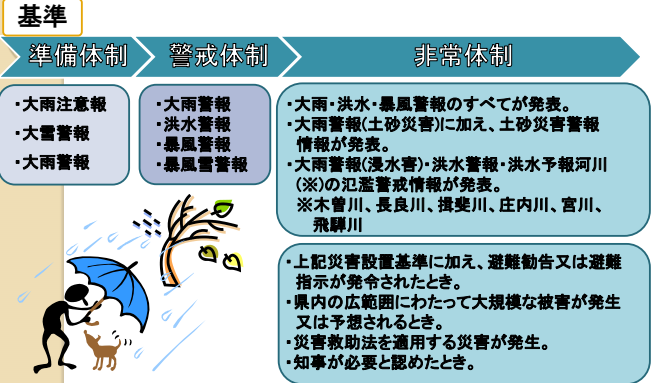
市町村	実施日	研修・講座名	主催者	参加人数	実施内容等
高山市	9月26日	高山市総合防災訓練・災害想定直上訓練	高山市	34	「災害想定直上訓練」対象：北小学校区内11町内会代表者(8組構成)協力：NPO法人「サポーターコミュニティ」飛騨、高山市消防団
	9月26日	「地震体験訓練」対象：北小学校区内11町内会地産総合防災訓練参加者 内容：地震体験車により地震の揺れを疑似体験することで、防災意識向上・家具転倒防止などの実践に繋がることを目指して実施した。	高山市	278	
飛騨市	8月20日	防災教室	飛騨市・古川町3、4区	20	自主防災活動について
	9月10日	古川町14区女性会防災教室	飛騨市・古川町14区女性会	10	地震・水害などの対応、災害時の炊き出し方法について
白川村	9月8・9日	女性防火クラブ防火教室	白川村	40	女性防火クラブが防災に関する知識を高め、防災意識の高揚と災害時の適切な対応を身に付けることを目的に開催 実技：「AED研修」高山消防署 白川出張所
中濃事務所	7月2日 9月27日～10月1日	防災啓発キャンペーン「自助実践200万人運動」における「地震体験車」による地震体験	郡上市消防本部 中濃消防組合・郡上市消防本部	65 1,250	1 地震に関する講話 2 自助実践200万人運動に関するリーフレット及び啓発グッズの配布 3 自助実践200万人運動に関するのり旗を配布 4 地震体験
	9月11日	関市総合防災訓練における自助実践200万人運動啓発グッズ等の配布	岐阜県中濃振興局中濃事務所(関市総合防災訓練は関市主催)	340	関市総合防災訓練会連合の「地震体験車ブース」において、地震防災リーフレット及び自助実践200万人運動啓発グッズを配布した。
飛騨振興局	9月6日～9月10日	「地震体験事業」自助実践200万人運動	高山市消防本部 下市町消防本部	1,040	災害時の被害を減らすため、県、市町村、防災関係団体等が連携、協力し、県民一人ひとりに、10年間で延べ200万人の参加を目指す自助実践の大規模防災啓発キャンペーン。 1 地震発生時の対応及び家庭での自助実践、 2 地震体験(起震車)
東濃事務所	9月17日		瑞浪市・瑞浪市消防本部・土岐市・土岐市北消防署	917	

【問い合わせ先】 岐阜県庁4階 総務課 危機管理部門防災課 TEL:058-272-1125 / FAX:058-271-4119 東海学園大学

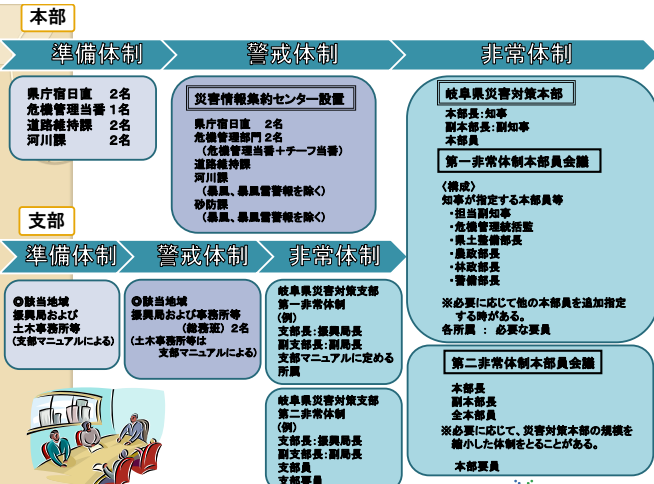
自然災害に関する組織体制

①風水害(一般災害)

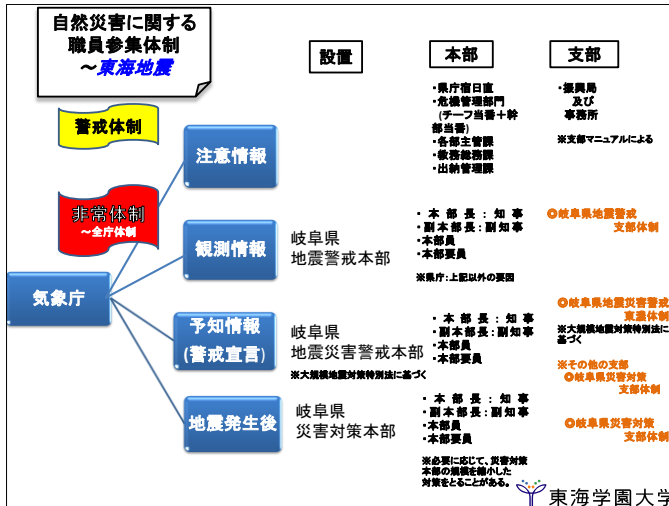
以下 c11115@pref.gifu.jp より



東海学園大学

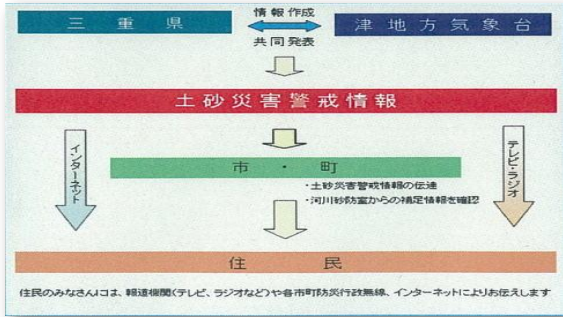


東海学園大学



東海学園大学

災害時における 三重県の情報伝達

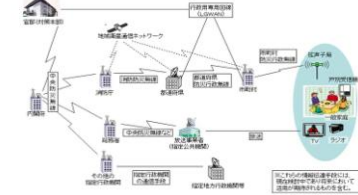


「災害時における三重県の情報伝達」：三重県土整備部 河川・砂防室

東海学園大学



武力攻撃事態等における国民の保護のための
国からの主な情報伝達手段のイメージ



「連絡ネットワーク」：内閣官庁 国民保護ポータルサイト
J-Alertによる国から住民への瞬時情報伝達

- ① 大津波警報
 - ② 津波警報
 - ③ 緊急火山情報
 - ④ 緊急地震速報(予測震度5弱以上)
 - ⑤ 弾道ミサイル情報
 - ⑥ 航空攻撃情報
 - ⑦ グリラ・特殊部隊攻撃情報
 - ⑧ 大規模テロ情報
 - ⑨ 津波注意報
 - ⑩ 震度速報
 - ⑪ 気象警報
 - ⑫ 指定河川洪水予報
 - ⑬ 土砂災害警戒情報
 - ⑭ 東海地震予知情報
 - ⑮ 臨時火山情報等
- 住民の避難が必要となるときは都道府県知事に対し、住民の避難措置を講ずるよう指示します。これを受け、都道府県知事は、警報の通知や避難の指示を行い、市町村の住民広報を通じて住民に情報が伝達されます。情報伝達の手段については、防災無線、衛星通信など複数の経路を確保することとしています。

東海学園大学

三重県の防災訓練

* 目的

巨大地震発生後の集中豪雨を予期した、県災害対策本部事務局の基本的活動要領について訓練し、業務実施要領と組織的対応能力の向上を図るとともに三重県地域防災計画、災害対策本部体制、各種活動計画を検証する。

* 訓練評価者

愛知県防災局災害対策課
総括専門員 1名



「三重県の防災訓練」：三重県庁ホームページ

東海学園大学

* 主要訓練(検証)項目

- 事務局各グループの活動
基礎的活動要領の習熟、情報収集及び各種対策活動、本部員議会の準備
- 事務局各グループの組織的連携
発災直後の救助機関運用構想決定のための活動組織かつ迅速・的確な初動対策の立案・調整活動、協定事業者等との連携
東日本大震災の教訓の反



「主要訓練項目」：三重県庁ホームページ

東海学園大学

三重県市町村別の避難所の数

市町村	学 校	学 公民館	施 設	そ の 他
いなべ市	17	3	0	0
津市	23	12	3	2
伊勢市	42	48	26	3
鳥羽市	60	49	21	21
合計	142	112	50	26

津波避難専用の施設を新設する際に 特に留意した点

- ・手すりの設置は重要(三重県紀勢町)
- ・スロープがない代わりに階段の高さは15センチとし30センチの奥行きとして余裕を持たせた(三重県紀勢町)
- ・施設内の階段は、段差を若干小さめに設定しまた階段の幅にもゆとりを設置(高知県須崎市)



町名地区津波避難タワー(三重県志摩市)

施設名：町名あな地区津波避難タワー

施設名：町名あな地区津波避難タワー
場所：三重県志摩市大王町町名474
事業の概要 町名地区(約800人)の中心部の住民は
高台へ避難するまで500メートル以上の距離がある

三重県の津波シミュレーションによると、東海・東南海・南海地震が同時発生した場合、地震発生から約10分後に最大3.12メートルの大津波が襲来するとされている

津波からの避難で高台まで逃げ切れない場合を想定して設置
(旧町名支所跡で、海岸から約200m、海抜約9m)

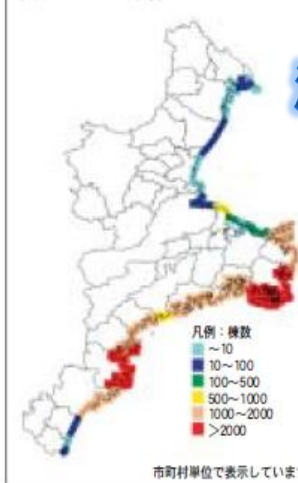
構造・規模：鉄骨造、高さ7.8m(デッキ部分5.6m)
延べ床面積18㎡



「三重県市町村別の避難所の数」：三重防災JP

東海学園大学

津波による建物被害(全壊棟数+半壊棟数)



津波避難タワー



「津波避難タワー」：三重県大紀町ホームページ

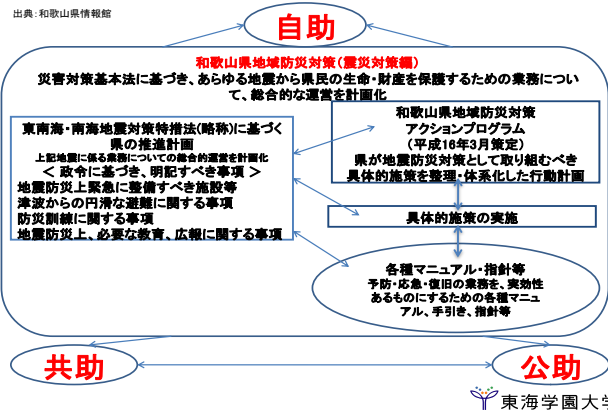
東海学園大学



東海学園大学

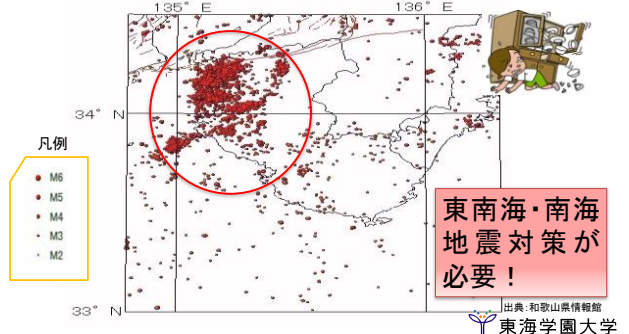
和歌山県地震防災対策の概念図

出典: 和歌山県情報館



和歌山県と その周辺における地震

最近の浅い地震活動(M2以上、1985年~1994年、深さ20km以浅)



自助・共助・公助の連携

- ◆揺れたら逃げるの徹底 ◆防災意識の向上 ◆災害時要援護者支援
- ◆自主防災組織の設立・育成 ◆津波避難訓練の実施 ◆堤防・護岸の整備
- ◆避難場所整備 ◆避難路整備 ◆防災情報システム整備 ◆耐震化の促進

住宅・県有施設の耐震化

目標達成のための具体的数値目標

	現状	目標
○住宅	67%	85%
○多数の人が利用する建築物	74%	90%
○県有建築物	73%	100%

津波対策

津波から「逃げ切る！」支援対策プログラム

- ・地震発生後短時間で津波が来襲
- ・堤防・護岸で津波を防ぐことは困難
- ・県民が逃げ切るための避難支援策が必要

ソフト対策とハード対策が連携することによる相乗効果

避難タワー
避難路
津波避難施設

東海学園大学

ライフラインの災害時対策 ~災害時のガスと電力~

ガスの防災対策

屋外の対策

- 自動的にガスストップ
- 自動的にガスストップ
- 遠隔操作でガスストップ
- 大規模ガス

屋内の対策

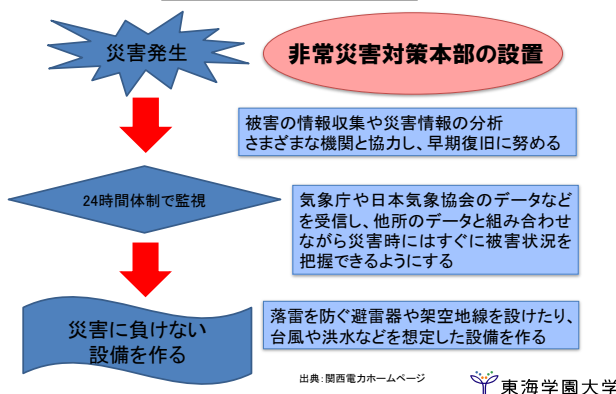
- 地震発生とほぼ同時「マイコン遮断」
大きな地震(震度5相当)を感知したら、マイコンメーターが止まる
- 地震発生とほぼ同時「リトルブロックの遮断」
地震計の値が一定(0.0カイン)以上になった地域は、器圧器(ガスの圧力を変える装置)がガスを自動的に止める
- 地震発生後速やかに「ミドルブロックの遮断」
ガス管に大きな被害が出て、さらに大きな範囲でガス供給停止が必要な地域は、会社からの遠隔操作でガスを止める

災害発生後の対応

- ① 復旧地域の分割
- ② メータガスの閉栓
- ③ ガス管の点検、修理
- ④ メータガス栓の開栓

出典: 大阪ガスホームページ
東海学園大学

電力の防災対策



災害発生時

出典: 関西電力ホームページ

●24時間体制の監視システム

中央給電指令所では
毎日24時間
電気の流れを監視制御

被害状況の把握

たとえば・・・

- 停電が発生 ⇒ 送電のルート変更(停電地域を最小限に抑える)
- 送電設備に被害が発生 ⇒ 事故を自動的に検出後、トラブルの場所を切り離し送電再開(影響を最小限にとどめる)

●幅広いネットワークで早期復旧

非常災害対策本部の設置

被害の情報収集や災害情報の分析、復旧指示、さらに気象台や警察署、消防署、経産省、行政機関、報道機関、他電力会社など

早期復旧

東海学園大学

兵庫県

兵庫県民の体験談から学ぶ 災害時の備え

平成7年1月17日、5時46分、**兵庫県南部に震度6**
場所によっては震度7の強い地震が発生

内陸・都市直下型地震
350万人余が密集し**経済活動の中核**
を担う淡路北部から神戸市及び阪神
地域の直下で発生

18kmという比較的浅い部分で発生断層が横にずれる
ことにより起こったもの
(大きなエネルギーが一拳に解放されるタイプ)

大規模地震のため、ライフ
ラインの被害と広範囲となる
交通システムが壊壊し壊滅的な
打撃を与えた
古い木造住宅の密集した地域
において大火災が多発



出典：阪神・淡路大震災の概要と特徴



東海学園大学

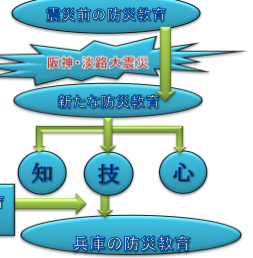


防災教育

被災した児童生徒の心のケアに努める教育を総称
災害時に自分の命を守る「**自助**」の確立
助け合い精神など「**共助**」の心を育み
安全で安心な社会づくりを目指すもの



新たな防災教育
10年の実績



人間としての在り方生き方にせまる
・命を尊重する心を育てる
・他者を思いやる心を育てる

科学的な理解を深める
・自然環境・社会環境と防災の関係を学ぶ
・地域の災害の歴史と対策について学ぶ



防災リテラシーを身につける
・災害発生時に身を守る方法を学ぶ
・応急処置や心肺蘇生法を学ぶ

出典：兵庫防災教育

東海学園大学

阪神・淡路大震災で明らかになった医療面での課題

- ・災害時の医療提供体制の脆弱性があらわとなった
- ・**重傷患者の搬送体制**
- ・交通網が寸断されるため負傷者を救急車で搬送する事が容易に出来ない
- ・重篤な傷病者は、航空機によって被災していない地域へ搬送する事が不可欠

震災時の負傷者搬送数

震災日	車両			ヘリコプター	船舶
	消防本部の救急車	病院の自衛隊搬送車	その他 自家用車		
1日目	107	62	211	1	-
2日目	107	217	189	2	7
3日目	109	118	169	12	2
4日目	67	96	107	8	1
5日目	40	112	54	15	16
6日目	36	69	37	5	1
7日目	41	65	32	3	-
計	507	739	799	46	27

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
Disaster Reduction and Human Renovation Institute

防災の調査研究部門などを備えており国内外の防災教育の知的拠点となっている。

- ・防災・減災体験フロア
- ・震災の記憶フロア
- ・震災追体験フロア
- ・防災学習フロア

などがあり、震災時の体験ができるようになっている。

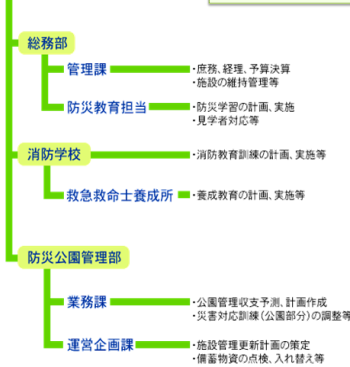
出典：医療安全推進者ネットワーク 人と防災未来センター

東海学園大学

広域防災拠点ネットワークの形成

組織図

兵庫県広域防災センター



広域防災センター

防災拠点ネットワークの中核として
全県域をカバーする総合的な機能



阪神・淡路大震災を**教訓に**応急
活動要員の集結・出動の拠点として、県下各地に広域防災拠点を整備。
各市町の地域防災拠点やコミュニティ防災拠点との連携によって、災害時における迅速かつ効果的な災害対策を可能にしている。

出典：兵庫県広域防災センター

東海学園大学

各自治体、各学校などにおける災害時の備え

各自治体、各学校などにおける災害時の備え



◆東海大地震において幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、企業、役所にはどんな食料が備えられているか？

◆自分たちはなにを備えればいいのか？



東海学園大学

保育園の非常食



□ レトルトカレー

□ カンパン

⇒ 保存期間 約5年

⇒ 三立製菓 カンパン など...

□ ビスケット

⇒ 保存期間 約5年

⇒ ブルボン オーロラビスケット など...

□ 水

⇒ 一番大切!!!



東海学園大学

小学校の災害時の対策

京都府草津市、13小学校



震災の記憶を風化させないために、市学校給食センターが、2005年から毎年行っている。

＜この日の献立＞
レトルトのイワシの煮付け
梅干し
震災時に多く炊き出されたという豚汁
など4品

愛知県西尾市立花ノ木小学校



プールの水をろ過して飲料水を作り、試飲する。

徳島県阿南市立新野東小学校



校内の材料でかまどを作り、近隣の竹を切り出します。

東海学園大学

中学校での災害時における備え

・給食による災害の対策

乾パン、すいとん、いつもの瓶に代わって紙パックの牛乳、ミカンというメニューがありました。

最近では、さまざまな中学校で災害時における給食を定期的にメニューに取り入れる学校が増えており、災害に対する意識が高まっているようです。

東北地方太平洋沖大地震によりいつ災害が起きても対応できるように避難訓練なども実施されています。



東海学園大学

高校の災害時の対策

- ・ 窓にガラスフィルムをはる
- ・ 設備等の点検・整備
- ・ 防災教育
- ・ 地震ナビゲーション(地震を数秒前に通知)

滋賀県・産振工業高校
「かまどベンチ」



災害時は炊き出し用に使用することができ、普段は薪を置いてベンチとして利用することができる

東京都立片倉高校
「炊き出し訓練」



春社団と協力して災害時の非常食、アルファ米、ハイゼット米、味噌汁づくりを体験してもらい高校生全員が試食をした。災害時に非常食の調理方法を知っていることは災害弱者にとっては大きな力となる。

東海学園大学

トヨタ自動車の災害対策

災害ボランティア体験

- ★被災者に必要な知識やノウハウを体験を通して学ぶ1泊2日の研修会
- ★ボランティア講話、非難サポート訓練、避難所体験など実施している



水中救助訓練



救急法



密集体験

東海学園大学

ミズ/ストック

ミズ/ストックは、万一、災害がきたとき、少しでも地域の皆様に使っていただき、お役に立ちたいという考えのもと、毎月少しずつ災害に備えた食料・生活用品を会社に備蓄すること。

地域に生かされ育てられた感謝のお返しを災害対応策の備蓄をすることが感謝と考え、ミズノの地域貢献とする。

現時点での備蓄状況

石けん	300個
トイレットペーパー	432個
軍手	2400双
タオル	100枚
マスク	2000枚
災害用携帯飲料水 (375ml)	192本
熊手トイレ	22個

AEDを社内に設置

メッセイベント開催時や近隣で万が一の事が起こった時に対応できるよう、AEDを社屋1階に設置しました。
万一、株式会社ミズノの近くで緊急事態が起きたときは救急車の手配と同時に、迷わず当社のAEDをお使い下さい。

株式会社ミズノより <http://www.mizuno1950.co.jp/information/stock.html>

雨水利用タンク「用心くん」

毎日の生活の中で蛇口をひねれば出てくる水も、水源地に降った雨なのです。街中に降る雨にも目を向け、ムダにすることなく有効利用を考えましょう。
※浸透マスとの併用が地下水をよみがえらせます。

用途

- ・庭木や草花への散水に
- ・雑用水に
- ・クルマの洗車に
- ・水不足の対策に
- ・火災、地震の防水用水に



東海学園大学

各市の災害備蓄食料

みよし市の災害備蓄食料

乾パン	3,840食
アルファ化米	5目ご飯 2,450食
わかめご飯	3,500食
梅がゆ	1,500食
きのこご飯	750食
チキンライス	250食
クラッカー	3,010食
缶詰ソフトパン	1,368食
粉ミルク	35.4kg
計	16,443食 35.4kg

名古屋市の災害備蓄食料

乾パン	280,000食
アルファ化米五目ご飯	40,000食
アルファ化米アレルギー用	10,000食
アルファ化米梅がゆ	70,000食
計	400,000食

Q引用Q

みよし市ホームページ
<http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp/bosai/hijousyoku.html>
 名古屋市-災害救助用備蓄食糧(PDF)
<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/cmsfiles/contents/0000005/5336/32.pdf>

東海学園大学

飲み水を作る

・ペットボトル、小石、炭(焚き火かす)、砂、ガーゼなどがあれば、一度地面についた雨水や泥水、濁水からも飲料水を作ることができます。
まず、ペットボトルの底を切り取り注ぎ口が下向きとなるように逆さまにします。
次に、小石、炭、砂、ガーゼの順にペットボトルに詰めキャップに小さな穴を開け、雨水や泥水、濁水を入れます。
溜まった水は10分ほど煮沸すると雑菌も死んで、飲用水になります。
ガーゼがない場合は薄い布(毛糸、バンダナなども可)キャップが無い場合はティッシュを代用してもできます。
・雪でもつくることができます。
ボールや鍋に雪の塊を入れ、湧きあげると飲料水のできあがりです。
湧かす時は、蒸発して湯気にするのもついでなので蓋(無い場合はアルミ箱などあれば利用し蓋にして)をして、煮沸するほうがよいでしょう。

災害時には最低でも3日分の飲み水が必要です。日頃から万が一のための水の確保・保存を心がけることも大切です。



東海学園大学

まとめ

・各施設・企業で、いろいろな対策がされていると知りました。企業内のためだけではなく、地域の方のために少しずつ備蓄をしたり、学校や保育園では避難訓練などを実施しています。

・私たちが生きていくためには「水」と「食料」が必要です。災害はいつおこるか誰にも予測できません。なので、最低でも3日分くらいは備えておきましょう。(乾パン、飲料水、レトルト食品など)日頃の備えや訓練がとても大切だということが分かりました。

東海学園大学

各家庭で最低備えておきたい飲食物

- ・ 水 500~1000 ml/day
- ・ 乾パン 一人につき1~2缶
- ・ レトルト食品 適宜



東海学園大学